

名古屋港

サイバーセキュリティ対策の強化に向けた要望

2023年 7月

名古屋商工会議所

名古屋港振興協会

名古屋港利用促進協議会

名古屋海運協会

名古屋港運協会

東海倉庫協会

名古屋港 サイバーセキュリティ対策の強化に向けた要望

7月4日（火）において、名古屋港運協会名古屋港コンテナ委員会ターミナル部会が運用するコンテナの積卸作業、搬出入等を一元的に管理するシステム（名古屋港統一ターミナルシステム(NUTS)）がランサムウェアに感染し、港湾の物流体制に影響が出る事案が発生しました。トレーラーによるコンテナターミナルへのコンテナ搬出入の停止や、コンテナ船での荷役作業の遅れがありましたが、7月6日（木）中にすべてのターミナルにおいて作業を再開しました。

名古屋港は、我が国の経済と産業の成長を支える重要なインフラであり、今後システム障害によって、主要貨物であるコンテナの荷動きが停止するような事態が起こらないよう、官民が危機感を持ち一丸となって対策を講じていく必要があります。

サイバー空間上のリスクが多様化する中で、日本の経済を守るためには名古屋港のみならず、我が国のインフラ分野における情報システムの防御力やレジリエンスの向上は重要になっております。

今後このような事態が起こらないよう、名古屋港としてもしっかりと対応いたしますので、国においても、必要なお支援を頂けますようお願いいたします。

2023年 7月

名古屋商工会議所会頭	嶋	尾	正
名古屋港振興協会会長	藤	森	利雄
名古屋港利用促進協議会会長	高	橋	治朗
名古屋海運協会会長	笹	田	祐典
名古屋港運協会会長	藤	森	利雄
東海倉庫協会会長	武	藤	正春